



福島小学校

No. 6

# 校長室だより

令和3年3月24日

## 第41回卒業証書授与式～20人の巣立ちの日～

3月18日(木)、春らしい穏やかな天候の中、福島小学校第41回卒業証書授与式を挙行了たしました。たくさんの方々にお世話になった卒業生20人は、厳粛で温かい雰囲気の中、懐かしい福島小学校を立派に飛び立っていきました。

卒業前には、地域の方々、保護者の方々からもたくさんのお祝いのお言葉をいただきました。たくさんの方々に見守られ、応援されながら小学校6年間を過ごし、巣立ちの日を迎えることができました。心から感謝申し上げます。

3月中、6年生は、学習のまとめをしながら下の学年の子どもたちとの思い出作りをしていました。委員会の引継ぎも終え、バトンを在校生に託しました。今、在校生はそのバトンをしっかり受け継いでくれています。



18日は、1、2、3、4年生は、短い時間のお別れ式に参列しました。式の前から自分たちで整列することが出来たのも素晴らしいです。各学年の代表からお祝いの言葉を贈ったのですが、161人が家族のようになかよしの福島小学校だからこそあふれ出た心からの祝福。大好きな卒業生20人の姿にあこがれを持ち、次への希望や意欲を高めることができました。

卒業証書授与式は、卒業生、保護者、5年生児童と教職員のみで行いました。5年生は、会場準備、練習から最高学年に向けての心構えを学んできて、卒業式当日も立派に式を盛り上げてくれました。後片付けも手早く感じました。

式次第を簡略化し、歌を歌うこともできなかったのですが、5年生が事前に録音してくれた校歌を聞きました。卒業生一人一人が立派に卒業証書を受け取ることができました。20人が卒業式直前まで力を合わせて作り上げた、「卒業生の言葉」は、思い出と感謝の気持ちが詰め込まれた心が温まるものでした。ひな壇に立つ卒業生の門出を、式場の全員が祝福しました。一生に一度の小学校の卒業式、卒業生にとって忘れられない素敵な一日になったことと思います。

## 一年を振り返って

今年度は新型コロナウイルス感染拡大予防のため、5月末まで学校が臨時休業となり、6月の再開後も、いつも当たり前できていた生活ができなくなりました。そんな中でも子どもたちは、今できることを考え、仲間とともにできる行事を楽しみ、周りの人と関わることで多くのことを学び、感謝の心を持って過ごすことができました。これもひとえに保護者の方々、地域の方々が子どもたちの話を聞き、困ったことに寄り添いながら、学校とともに考え、ご協力いただいたおかげです。

子どもたちは様々な体験を通して自分の役割に気づき、努力することの大切さを学んできました。特に3月は、学級でのまとめはもちろん、委員会の引継ぎ、6年生との思い出作り、お別れ式、卒業式に向けて「自分の果たすべき役割」に気づいて、自分で判断し実行に移すことを、どの学年でも重視してきました。新しいことを学び、たくさんの方と関わり、友達と話し合い、子どもたちは心も体も大きく成長しました。次の学年に向けて子どもたちの可能性が大きく広がっています。

明日からは春休みです。春休みは子ども一人一人の頑張りを認め、一年間の取り組みをふり振り返り、新たなスタートに向けて話し合ってみてください。

春休み中も引き続き新型コロナウイルスには十分気を付け、「しっかり手を洗うこと」「換気をする」「マスクをすること」「密にならないようにすること」など感染症予防の対策を心にとめてお過ごしください。

また、交通事故に気を付ける、危険な遊びをしない、暗くならないうちにおうちに帰る、おうちの人に行き先を言う、用もないのに子ども同士でコンビニやスーパー、校区外へ行かない、お金を大切に使う等をしっかり守って、楽しい春休みを過ごせるようにご家庭でもご指導をよろしくお願いいたします。

保護者の皆様、地域の皆様、一年間本校教育に多大なるご協力、ご支援をいただき、ありがとうございました。来年度も引き続きよろしくお願い申し上げます。

1年生が植えたチューリップが  
かわいい花を咲かせています。

